

2023年8月15日台風7号による 上津屋橋の被害状況報告

京都大学防災研究所 山田真澄

被災前の上津屋橋



本台風では多くの被害が発生しました。
被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。

上津屋橋の歴史

上津屋橋は、昭和28(1953)年3月に木津川にかけられた、全長356.5mの木造橋です。

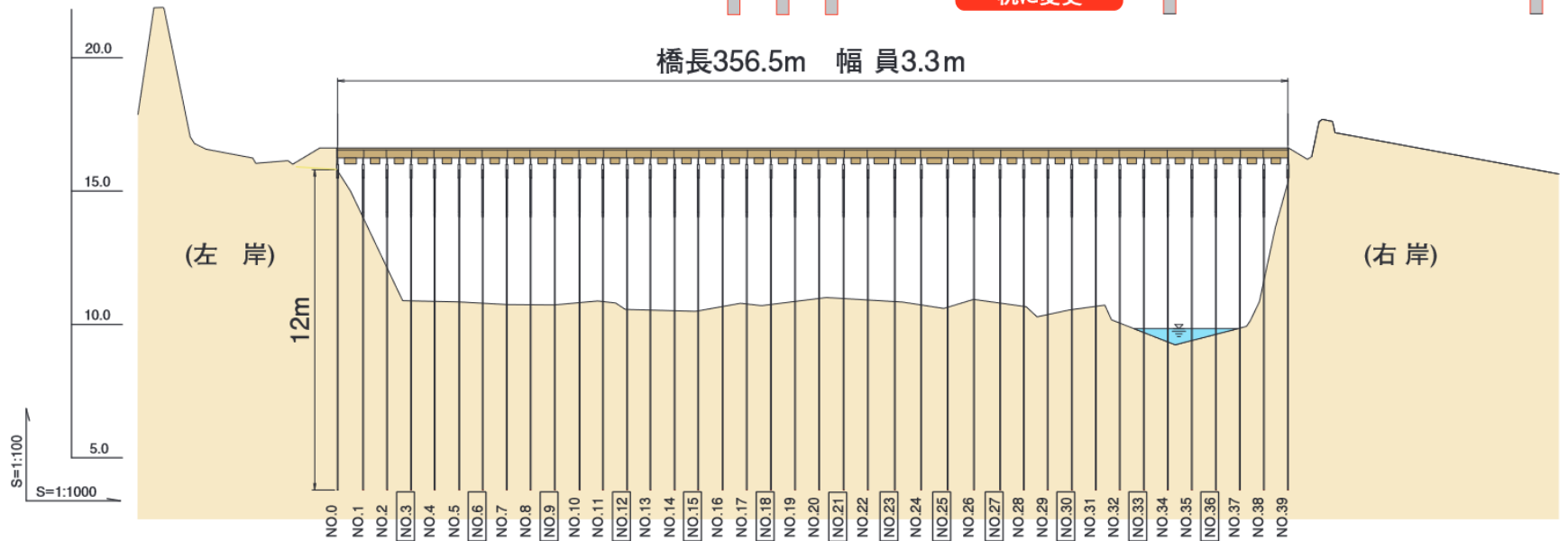
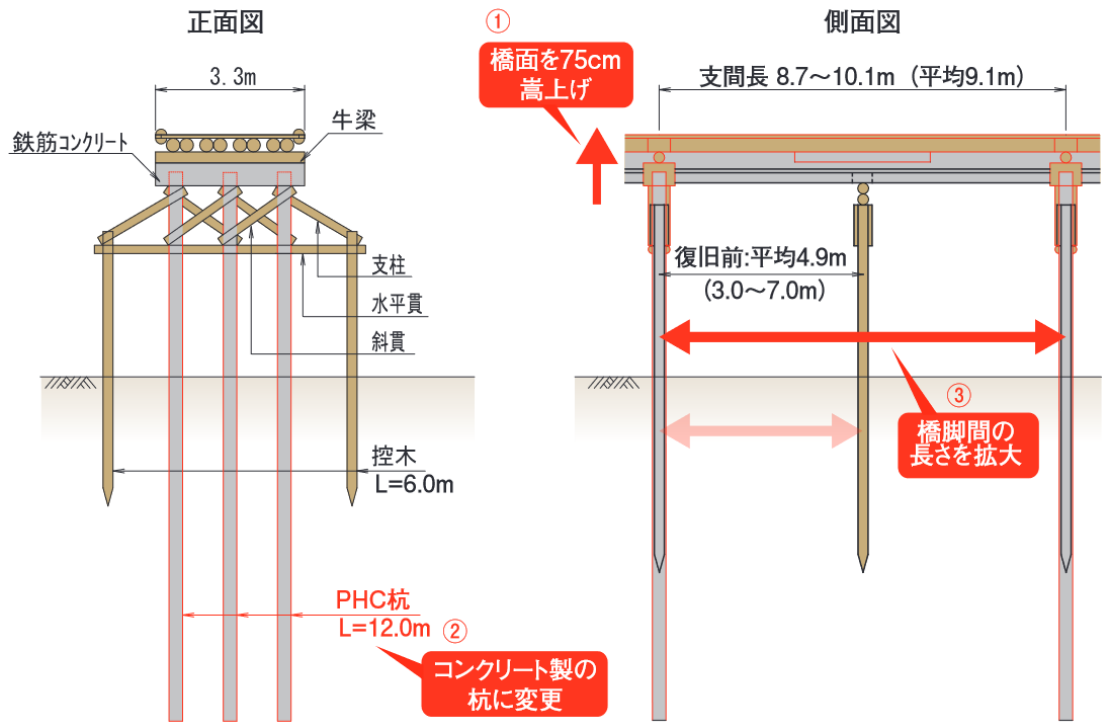
上津屋橋のある地区は、江戸時代から明治の中頃まで木津川をはさんで両岸が上津屋村と呼ばれ、日常生活はもちろん、八幡の石清水八幡宮に参拝する人たちも渡し舟を利用して木津川を往来していました。しかし、渡し舟では不便であるとの地元の強い要望があり、現在の位置に上津屋橋が完成しました。

梅雨や台風がもたらす豪雨のため、川の水位が上がると橋板や橋桁が流れ出すというその独特の構造から通称「流れ橋」と呼ばれていて、流出のたびに改修がおこなわれてきました。

しかしながら、平成23年から26年には夏期の大雨により4年連続で流出しました。そして復旧費用も少なくないことから、抜本的な改修が行われることとなりました。京都府は、「上津屋橋(流れ橋)あり方検討委員会」を設置して検討を重ね、以下の構造変更を行いました。

- 1) 橋面を0.75m上げる
- 2) 橋脚をコンクリート製のPHC杭に変更
- 3) 橋脚間の幅を2倍にする
- 4) 橋板を10ブロックから3ブロックに縮小

改修後の構造

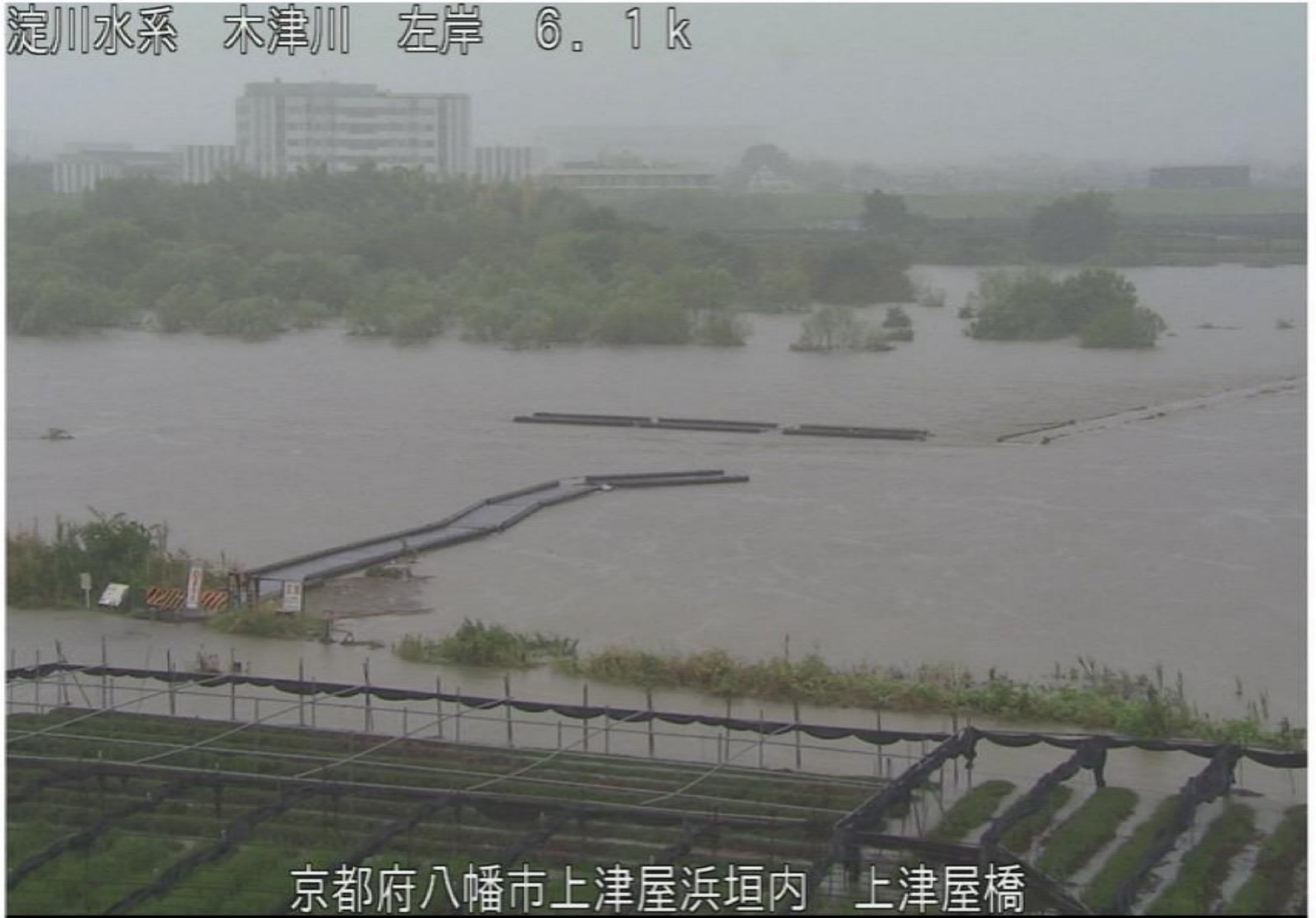


上津屋橋 流出状況の歴史

①	昭和28年	8月15日 8月の豪雨	昭和53年		平成15年			
	昭和29年		昭和54年	⑬	平成16年	8月5日 台風11号		
	昭和30年		昭和55年		平成17年			
	昭和31年		昭和56年		平成18年			
	昭和32年	⑦	昭和57年	8月1~3日 台風10号	平成19年			
	昭和33年		昭和58年		平成20年			
②	昭和34年	9月25日 伊勢湾台風	昭和59年	⑭	平成21年	10月8日 台風18号		
	昭和35年	⑧	昭和60年	6月21日~7月1日 梅雨の豪雨台風6号	平成22年			
③	昭和36年	6月24日 梅雨の豪雨	⑨	昭和61年	7月20~22日 梅雨の豪雨	⑮	平成23年	9月2~3日 21~22日 台風12・15号
	昭和37年		昭和62年		⑯	平成24年	9月30日 台風17号	
	昭和38年		昭和63年		⑰	平成25年	9月16日 台風18号	
	昭和39年		平成元年		⑱	平成26年	8月9日 台風11号	
	昭和40年	⑩	平成2年	9月19~20日 台風19号	平成27年	(改修工事)		
	昭和41年		平成3年		平成28年			
	昭和42年	⑪	平成4年	8月19日 台風11号	⑳	平成29年	10月22日 台風21号	
	昭和43年	⑫	平成5年	7月5日 7月の豪雨	平成30年			
	昭和44年	⑬	平成6年	9月30日 台風26号	㉑	令和元年	10月12~13日 台風19号	
	昭和45年	⑭	平成7年	5月12日 5月の豪雨	令和2年			
	昭和46年		平成8年		令和3年			
④	昭和47年	7月10~17日 7月の豪雨	⑮	平成9年	7月26日 台風9号	令和4年		
	昭和48年		平成10年		令和5年	8月15日 台風7号		
⑤	昭和49年	7月10日 7月の豪雨	平成11年					
	昭和50年		平成12年					
⑥	昭和51年	9月8~13日 台風17号	平成13年					
	昭和52年		平成14年					

2023年8月15日 17時 台風当日の様子

淀川水系 木津川 左岸 6.1k



京都府八幡市上津屋浜垣内 上津屋橋

【台風7号】京都・木津川の流れ橋、水位上昇で流れる 時代劇ロケで有名

2023年8月15日 16:30



橋板や橋桁が外れた上津屋橋（流れ橋）＝15日午後3時56分、八幡市上津屋

台風7号の接近に伴う大雨で15日午後、京都府南部の木津川が増水し、八幡市と久御山町を結ぶ府道八幡城陽線の上津屋橋（流れ橋）の橋板と橋桁が、橋脚から外れた。

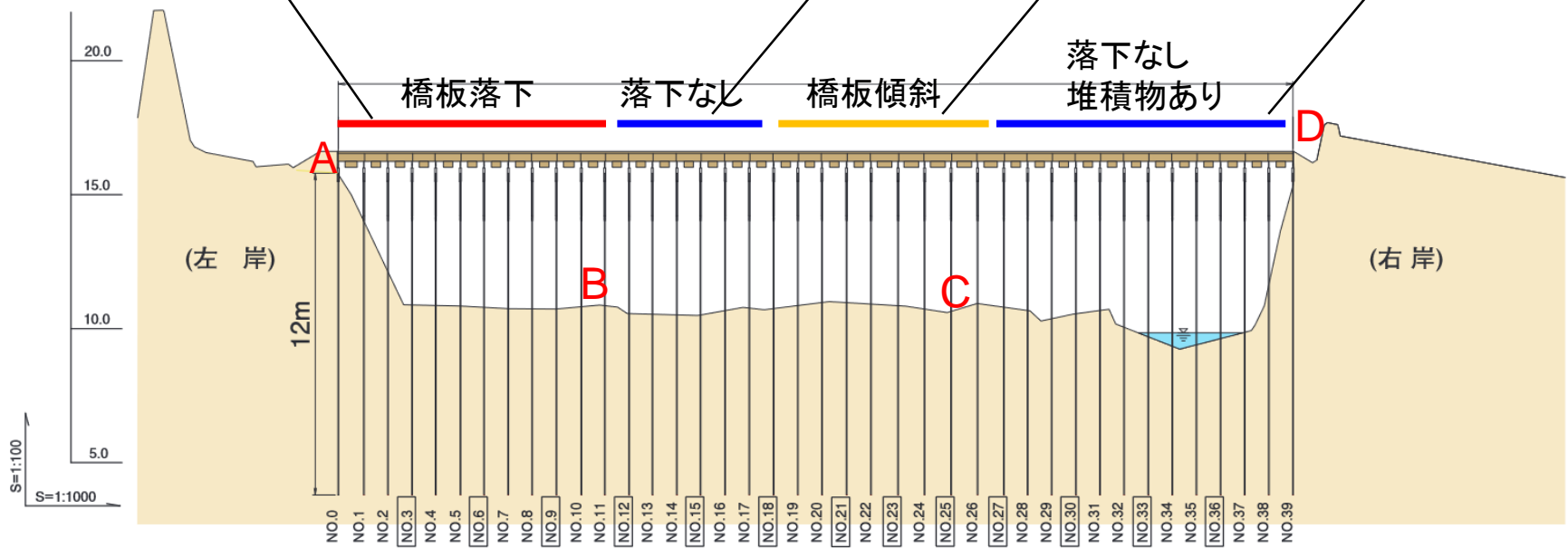
府山城北土木事務所は、水位が上昇したため同日午前7時半ごろから、流れ橋を通行止めにしていました。同事務所によると、午後2時ごろ、現地で職員が橋脚から外れていることを確認した。木津川上流の国交省

飯岡水位観測所（京田辺市）では、午後1時50分に3・61メートルを観測していた。

流れ橋は2019年の台風19号でも被害を受け、橋脚から外れるのは4年ぶり。同事務所は「今後、調査などをして復旧に努めたい」としている。

流れ橋は長さ356・5メートル、幅3・3メートルの歩行者専用の橋。時代劇などのロケ地でも知られる。

上津屋橋の被害状況



上津屋橋の被害状況(8月20日 流れ橋左岸A地点から撮影)



上津屋橋の被害状況(8月20日 流れ橋左岸B地点から撮影)



上津屋橋の被害状況(8月20日 流れ橋左岸B地点から撮影)



上津屋橋の被害状況(8月18日 流れ橋右岸D地点から撮影)



おわりに

流れ橋は、個人的にとっても思い入れの深い橋です。というのも、中学の教科書に大竹三郎氏の流れ橋に関するエッセー（下記参照）が掲載されており、このような不思議な構造の橋があるのかと子供ながらに深く感銘を受けました。その後、大人になってから、この橋が意外に近くにあることを知り、度々訪れるようになりました。流れ橋は堤防からのアクセスが良く、歩行者や自転車にとっては木津川を渡るのにとっても便利な橋です。予算や工期の都合もあるかと思いますが、早期に復旧されることを願っています。

流れ橋（大竹三郎）要約

京都に、大水が来ると必ず流されてしまう流れ橋がある。この橋は、木の橋脚の上に木の橋板を載せてあるだけで、しかも橋板は鉄のロープで橋脚に結んである。なので、水かさが増すと浮かんで橋脚から外れてしまうが、下流に行かないようになっている。これは、大水の時に水をスムーズに海へ流し、洪水を引き起こさないための知恵である。もし橋板がしっかりと固定してあると水の流れを邪魔して、川は急に増水して堤防を超えてしまうのだ。自然の猛威に立ち向かうのではなく、収まるまで我慢する流れ橋の姿には、わたしたち人間が自然と付き合う、一つの考え方が示されている。

[http://www.news.ed.jp/gimu/yumeako/kengaku/H26/cyuko/H26cyuko\(1\).pdf](http://www.news.ed.jp/gimu/yumeako/kengaku/H26/cyuko/H26cyuko(1).pdf)

<https://kokugosozai.com/nagarebashi/>

参考文献

上津屋橋(流れ橋)資料集 京都府山城北土木事務所

https://www.pref.kyoto.jp/yamashiro/kensetu/documents/20200305kouzuyabashi_pamphlet.pdf

上津屋橋(流れ橋)<時代にあった木橋をめざして> 京都府山城北土木事務所

<https://committees.jsce.or.jp/mokuzai13/system/files/%E4%B8%8A%E6%B4%A5%E5%B1%8B%E6%A9%8B%E9%81%B8%E5%A5%A8%E5%9C%9F%E6%9C%A8%E9%81%BA%E7%94%A3%E5%8F%97%E8%B3%9E%E8%A8%98%E5%BF%B5%E8%AC%9B%E6%BC%94%E8%B3%87%E6%96%99.pdf>

渡辺ほか(2017)流れ橋の改修に伴う重ね梁の性能に関する実験的および数値的検討、木材利用研究論文報告集16, 55-62

<https://committees.jsce.or.jp/mokuzai07/system/files/r1613.pdf>